令和5年度

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

富田中学校 「学力向上実行プラン」

自他の「幸せ」(Well-being) のために 自ら考え、選択し、行動できる生徒の育成 - 聴き合い、認め合い、温め合う対話を通して - 森岡 翔哉 郡 あゆみ

学力向上推進員 委員 総括 松尾 真千子 総括補佐 松谷 薫 土壁 直樹

教務主任・研修主任

根津 彰・藤原 利通子

I 学年主任 田川 悦子 2 学年主任 粟田 恭史 3 学年主任 藤原 利通子 特別支援コーディネーター 校長

松尾 真千子

次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力向上を推進する。

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

森田 悦子

(1) 知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
	目的意識をもちながら、単元を通して身に付けたい力を確実に身に付ける。	・各教科の特性を考慮しつつ、すべての教科で単元全体の導入時に「どのような力を身に付けるための単元であるか」を説明する。 ・「すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善のポイント(国語力向上タスクフォースの提案から)」で示された視点を取り入れる。		・授業アンケートの結果から、約9 割の教員が、単元のまとまりごと に評価規準を示した上で、生徒が 見通しをもったり振り返りをした りするための方策をとっているこ とが判明した。	・学習指導要領や徳島県教育委員会

(2) 思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ 話合い活動やプレゼンテーション等、対話や自己表現の場を好む傾向にある。● 互恵性に基づく協働的な学びを通して、「みんなでわかった」授業をデザインする必要がある。	対話を通して仲間と協働し、共に問題発見・課題解決を図る	・「生徒も教職員もみんなでファシリテーターになろう!」プロジェクトにより、学校全体でファシリテーション技術の向上に取り組む。 ・ベテラン教員・中堅教員・若年教員の3人 I 組のグループを組織し、グループ内で相互授業参観を実施し、「みんなでわかった」授業の実践・改善を重ねる。		・学習アンケートの結果から、約9割の生徒が、対話や自己表現を必要とする活動に対して積極的に取り組んだり、活動を通して新たな見方・考え方を得たりしていることが判明した。	て「生徒も教職員もみんなでファ

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
 ○ 学習規律の確立が図られつつあり、意欲をもって授業に向かおうとする雰囲気が醸成されている。 ● 「やらされ感のある勉強」からの脱却を図り、生徒自ら必要感をもつことができるような家庭学習のあり方を検討する必要がある。 	自らのよさや課題に気づき、自ら考え選 択し、責任をもって行動する。	 ・すべての教科で「何のために学ぶのか」という当該教科を学ぶ意義を考えたり共有したりする機会を設定し、学びの原点に立ち返る。 ・エラーズノートを活用し、セミナーや実力テスト等で間違えた問題を中心に、苦手を克服するための取組を行う。 ・記録シート「家庭学習のあゆみ」を活用し、保護者からコメントをもらう等して、家庭学習における学校と家庭との連携を強化する。 	・タブレット端末の回収作業が 行われ、記録シートの配布・ 活用が困難になった。そのた め、実施を取りやめる。	・学習アンケートでは、約6割の生徒が、授業で最も多い活動は教師の説明であると回答した。 ・授業改善アンケートの結果から、生徒が「必要感」「没入感」「安心感」「協働性」を求めていることが判明した。	ルビーイングな授業の実現に向けて、「必要感」「没入感」「安心感」 「協働性」を意識した授業づくり

令和5年度 学力向上ロードマップ

	3月	4月					5月		6月	7月			8月		9月		10月	11月	12月			I 月	2月		3月			4月
検討委員会	次年度の取組	年間の流れ計画	・校内で・学校日・学習状・「家庭	上実行プラの共通理解 Pへのプラ 沢アンケー 学習のあゆ	¥ ・ン掲載 - ト作成 き」作成		手引き配布	アンケート実施				アンケート実施	調査結	プランの見直し	中間見直				アンケート実施		学校評価アン	学校評価の	活用状況報告タスクフォー ス等	実行プラン完成	アンケート実施	プランの公表分析・検証を経た	次年度の取組	前年度の実績を踏
	に向けた情報整理	学習状況調査	ステップアップ	P T C	家庭学習の	P T A 参観日		結果公表	推進員研修会	P T C	家庭学習の	結 果 公 表	果の分析・取組の	「報告書」送付	しを受けた授業改;	1	研修会 り		P T C	家庭学習の	ケート・教員アン	データ等による取					に向けた情報整理	まえた新体制での
おった取組	- 構想立案	授業力向上研究	各教科部会研修				相互授業参観	授業研究	若 葉 の会				· 検 証	校内研修	善の立案	3	相互授業参観研究授業・協議	授	若 葉 内研修		ケート実施	組の検証	相互授業参観研究授業・協議	科授業研究	若葉の会		· 構想立案	実行プラン作成